

令和4年12月19日

県民・事業者の皆様へ

愛媛県知事 中村 時広

渇水対策への御協力について（依頼）

県民・事業者の皆様におかれましては、愛媛県政の推進につきまして、日ごろから格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

県では、例年であれば梅雨時期に期待される降水量が非常に少なく、このままでは平成6年に本県を襲った大渇水に匹敵する状況に陥ることが懸念されたことから、6月29日に「渇水対策庁内緊急連絡会議」を開催し、県民生活に重大な影響が及ぶ前に、全庁体制で渇水対策を取り組むとともに、県民・事業者の皆様には節水等をお願いしたところ、ご協力いただき重ねて感謝申し上げます。

県内では、9月のまとまった降雨により、一旦は危機的な状況を脱しましたが、10月以降の降水量が平年の半分以下と非常に少ない状況となっており、現在、四国中央市の銅山川ダム群や松山市の石手川ダムなどでは、平年の貯水率を大きく下回り、既に一部の地域では、上水道や工業用水等の取水制限等が再び実施されています。

また、気象庁の長期予報によると、向こう1か月の降水量は平年並みか少ないとされ、今後も少雨傾向が続いた場合は、来年の農業用水が必要となるかんがい期には、県内の水需給は、ますますひっ迫することが予測されており、渇水の深刻化が一層懸念されます。

つきましては、こうした状況をご理解いただき、県民・事業者の皆様におかれましては、お住まいや勤務先の渇水状況を確認いただくとともに、引き続き、より一層の節水及び啓発活動へのご協力をいただきますようお願いいたします。